

進路指導全体計画

学校教育目標

ただ この時に燃えよ 一顔はひまわり、心は思いやりー

進路指導 経営の具体的な方策

- 1 自分の特色や将来の生き方を考え、自分にふさわしい進路を選択するとともに、その実現に向けて努力する態度を育てる。
- 2 職業観・勤労観を育成するため、地域と連携して体験学習の充実を図る。
- 3 生徒・保護者に対する適切な進路情報の発信を行い、計画的に進路相談を実施する。

進路指導目標

自己を見つめ、主体的に進路を考え、実現に向けて努力することができる生徒の育成

重点目標

- 1 自分の特色や将来の生き方を考え、自分にふさわしい進路を選択できるよう支援する。
- 2 地域の教育力を生かし、体験的な学習の充実や地域との関わりから、生き方や職業についてより深く考えられるように促す。
- 3 職業や上級学校に関する適切な進路情報を収集し、情報の発信を積極的に行うとともに、計画的にガイダンス・進路相談を行う。

具体的な施策

- 1 体験的な学習の機会の充実（職場訪問、C S W、上級学校調査、各種講話、体験入学）
- 2 進路相談、ガイダンスによる指導、支援（二者面談、三者面談、家庭訪問など）
- 3 諸調査、検査の実施と活用（進路希望調査、困りごと相談、i-check調査など）
- 4 積極的な情報提供（進路通信の発行、進路P T A、学年に応じた進路コーナーの工夫など）

各学年の指導目標

第1学年	第2学年	第3学年
1 自己の特色や適性について考え、学級・家庭など集団の一員としての在り方について考えられるようにする。 2 身近な働く人々に目を向け、働くことの意義や職業について理解を深められるようにする。	1 地域や社会に目を向け、自分の将来について広い視野から考えられるようにする。 2 C S Wでの体験活動などを通して、望ましい職業観・勤労観を育成する。	1 進路について適切な情報を取得し、自分の特色や適性を踏まえて、よりよい進路の選択ができるよう支援する。 2 将来の目標や夢をもち、進路の希望の実現に向かって努力する態度を養う。

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	その他
1 達成感や成就感を味わえるように、分かる授業や考える授業を心掛ける。 2 将来のよりよい生き方につながる基礎的知識や技能の習得・定着を図る。	1 多様な価値観や生き方について考えることを通して、よりよく生きようとする意欲や態度を育てる。 2 自己を見つめ、自分のよさや個性に気付き自己肯定感を高める。 3 働く意義を考えることができるよう、社会の一員としての在り方を話し合う。	1 集団生活を通じて集団や社会の一員としての自覚と責任をもち、生活に必要な基本的な態度を育てる。 2 職場体験などの啓発的な体験を通じ、職業や進路に対する関心と理解を深める。	1 自分の課題を捉え、職業や自らの生き方について考えを深めるために職場訪問や職場体験や社会人講話を行う。 2 自分の興味・関心や個性について理解を深め、進路選択に役立てることができるようにする。	1 進路相談に基づき、個に応じた指導や助言を行う。 2 保護者、地域との連携を図る。 3 関係諸機関との連携を密にする。